



笠懸小学校は今年も思いやりも日本一を目指します！

やさしく
たたくしまし
たたくしまし



笠懸小学校

学校だより No.9 2022.6.22

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

自分や学級で決定し、実行していくことの大切さ

子どもの成長を促すため、考えさせたり体験させたりして自己決定させ、責任を与えて実行できるよう支援することはとても大切なことと考えます。

学校では、クラスや自身の生活をよりよくしていくために話し合う学級活動や、学校全体をよりよいものにしていくために自分たちができることを考え話し合う児童会活動・委員会活動がそれに当たります。話し合いによって自己決定や集団決定させる内容は、学年発達により異なりますが、私たち教職員は、自分や学級等で話し合って決定したことを尊重するとともに、責任をもたせて実行できるようにすることを重視して指導しているところです。



真剣な話し合い!(5年生)

今日は、上記のような目的で実践された5年生と6年生の学級活動の取組をご紹介します。みんなで決めたことや自分で決めたことを大切に、自律的な生活を送れる児童が増えていくことを期待します。

話し合った題材:「みんながもっと仲よくなるために」:スクールカウンセラーとのコラボ授業

【共有した課題等】

- ・嫌な言葉の言い合いがある
- ・かげで悪口を言ってしまった
- ・仲間に入れないことがあった
- ・嫌なことを言ったりしなくても謝れないこともあった

【話し合ったこと(要約)】

- ・温かい言葉を広げることが大切だな
- ・よい言葉は広がっていくのだな 悪い言葉も同じだから気をつけないと・・・
- ・友達を思う気持ちが足りなかったのかも知れないな

【自分で決めたこと(抜粋)】

- ・友達のよいところを見つける。もし、なおしてほしいところがあったら、温かいやさしい言葉で伝えよう。
- ・相手がイライラしていたら、「次からこうするよ」といってあやまり、互いにうれしくするようにしよう

話し合った題材:「歯と口の健康」:養護教諭とのチームティーチング授業

【共有した課題等】

- ・歯と口が健康なのは2人だけ
- ・むし歯以外の問題も多い
- ・よく噛むには歯が大切だ
- ・「8020」運動が行われている

【話し合ったこと】

- ・歯みがきは大切だが、それだけではダメなのだ
- ・フロスやキシリトールなども上手に使っていくとよいのだ

【自分で決めたこと(抜粋)】

- ・今まで歯のことをあまり意識していなかった。歯ブラシだけだと30%しか汚れがとれないことを知ったので、家のフロスも使っていこう。
- ・マスクをすることが多く口のことの意識が低くなっていた。デンタルフロスを歯みがき後にやろう。

タブレットの持ち帰りに関わる負担軽減について

笠懸小学校では、児童が楽しく進んで学習しながら、対話的で深い学びができるようタブレットを積極的に活用しています。また、学校や学年等のおたよりについても、児童のタブレット端末を通して配信(現在は2年生以上)しているところです。このように、タブレット端末は、学習においても保護者の皆様との連携・協働においても有効なものであり、今後も継続して使用していきたいと考えています。

しかしながら、端末を持ち帰ることによる、児童の携行品の増加は全国的に話題となるなど、学校の課題となっています。笠小では、昨年度から学年の実態や体力等に応じた負担軽減となるよう、家庭学習に必要な教科書等を学校に置いておく工夫をしているところであり、保護者の皆様のご理解もあって、タブレットの持ち帰りを毎日実現することができています。

お子様の様子を引き続き見守っていただき、一層の工夫が必要と感じられる場合には、ご意見をお寄せいただければ幸いです。



ボクの考えは〇〇です どうでしょう?

「ひまキャラ」のネーミング募集を始めました



笠懸小学校の特徴であり、伝統に「復興のひまわりプロジェクト」があります。（「復興のひまわりプロジェクト」の詳細は、笠小のホームページをご参照ください。）今年度もこの活動を核に行事や各種活動、授業等で思いやりの心を育て、思いを表したり受け取ったりする活動を実践し、思いやり日本一の学校を目指しています。これら一連の活動を「復興のひまわり活動」として活動を進めています。この活動で誕生した左のキャラクターの名前を募集することが代表委員会の児童から提案されました。名前の募集にあたっては、給食時の全校放送で呼びかけました。以下に呼びかけた原稿を紹介します。各家庭でも話題にさせていただき、ふるってご応募ください。

みなさんこんにちは。

代表委員会の〇〇と〇〇です。今日は皆さんにお願いがあります。先日お話があった「復興のひまわり活動」を覚えていますか。

「復興のひまわり活動」で誕生したこのキャラクターをみたことがありますか。そうです。教室の札や玄関、ニコニコ労から先生方の名札にも描いてありますね。知っていましたか？

ですが、このキャラクターには、まだ名前がありません。そこでわたしたちは、代表委員会が中心になって名前をつけてあげようと考えました。今日、みなさんに、名前募集の用紙を担任の先生から配っていただきます。どうか笠小のこのキャラクターに愛情たっぷりの名前をつけて、用紙に書いて応募してください。応募用紙は、職員室前にポストを用意しておきますので、7月1日までにそちらに入れてください。

2学期には、このキャラクターにステキな名前がついて、みんなに報告できるようにします。ぜひ、ステキな名前を待っています。以上で代表委員のお知らせを終わりにします。

2年生「町たんけん」、6年生租税教室が実施されました

6月15日（水）に2年生の町たんけんが、多くの保護者方々のご協力をいただきながら実施することができました。今回、2年生は市役所等の公共施設や宅配業者やスーパーマーケットなどの大型事業所、個人経営の事業所などを訪問し、見学したり質問したりすることを通して、学校の周りで働く人や施設等を理解したり、様々なことに気付いたりする目的で行われたものです。2年生児童の気づきを以下に掲載します。

市役所の訪問（みどモスと一緒に）



- ・佐川急便には、段ボールがいっぱいありました。寒いところがあって、そこには人がいっぱいいました。
- ・トライアルに入ると、最初は「おすすめ」の商品が並んでいることが分かりました。一番売れているのはバナナで、2番目はもやしだそうです。テレビが一番高いそうです。
- ・JAでは、フォークリフトで野菜を運んでいました。運んでいたのは、ミニトマトとキュウリととうもろこしでした。とうもろこしは涼しい部屋に入れておくそうです。



税金がなかったら・・・（動画）

6月17日（金）には、桐生税務署より2名の職員を招いて6年生の租税教室が実施されました。「税金とはなにか」、「使い道」、「もし税金がなかったら」、「税金の種類や税額の決め方」などを、講話を聞いたり、動画を視聴したりして学びました。

小学生と税金の関わりでは、群馬県では小学生一人あたり年間882,000円が教育費として、また、

校舎や施設の建設に773億円、教科書に463億円が当てられているとのことでした。社会科での税の学習が今日の行事をとおして実感を伴った理解となったことと思います。最後に1億円の現金（レプリカ）をもたせてもらい、なぜか皆笑顔になるのでした！？



ずっしり重い1億円（10kg）

